

# 裁判員制度にどう臨むか

2009.1.24

首都大学東京法学系 木村光江

## 1. 裁判とは？

○抽象的に定義すれば、公的な紛争解決手段(「狭義の法的解決」)

## 2. 裁判員制度はなぜ評判が悪い？

○制度導入の経緯

司法制度改革審議会(平成11年7月～13年6月)

⇒『司法制度改革審議会意見書』(平成13年6月)

→3つの柱 ①制度的基盤の整備, ②人的基盤の拡充, ③国民の司法参加

## 3. 裁判員裁判のメリット

①国民の裁判への理解 ②国民の司法参加 ③法の内容を国民に近づける

## 4. 近代裁判の特色

## 5. 近代裁判の理想

①適正さ, ②公平さ, ③迅速さ, ④訴訟経済

## 6. 裁判の機能と限界

裁判の機能は紛争解決だけではない

## 7. 裁判の種類とその目的

○刑事裁判の目的: 犯罪防止と国民の人権の擁護

## 8. 裁判所の仕組みと三審制

## 9. 刑事手続の流れ

○国家訴追主義, 起訴独占主義 ○起訴便宜主義

\* 検察審査会

## 10. 職権主義と当事者主義

### 11. 裁判員の選任 → 20歳以上の有権者

○辞退事由(法16条)(辞退することができる者)

- ・70歳以上の者
- ・常時通学する学生・生徒
- ・過去5年以内に裁判員・検察審査員の職にあった者
- ・病気, 同居の親族の介護・養育
- ・自ら処理しなければ著しい損害を生じさせる重要な用務, 日時を変更できない社会生活上重要な用務等

### 12. 裁判員の義務

①守秘義務 ②裁判の公正さに対する信頼を損なうおそれのある行為の禁止  
③品位を害する行為の禁止 ④出頭義務

### 13. 裁判員の保護

①裁判員に対する請託の禁止, ②裁判員に対する威迫の禁止  
③裁判員に対する不利益取扱いの禁止 ④裁判員の氏名等の公表の禁止  
⑤裁判員に対する接触の規制

### 14. 対象事件

○殺人, 強盗致傷, 現住建造物放火, 傷害致死, 危険運転致死等の重大犯罪

### 15. 裁判官と裁判員の権限

①全員で行うもの ○事実の認定 ○法令の適用 ○刑の量定  
○証人, 被害者, 被告人に対する質問

②裁判官が行うもの

○法令の解釈に係る判断 ○訴訟手続に関する判断

### 16. 「正義」は誰が決めるのか？